

始



國政兵事

北米合衆國大統領ニテ政表ノ發行  
○魯國兵備ノ話等合セテ五件

律法審判

英國海軍裁判所ニテ船艦衝突  
裁判ノ話等合セテ三件

教育宗教

獨逸及ヒ北米合衆國大學  
校ノ景況等合セテ四件

學術技藝

世界人口ノ統計  
等合セテ七件

工商諸業

健馬首府ノ活版職人  
ノ話等合テ二件

各地叢話

獨逸國電信通報ノ  
新制ヲ定メタル話

# 五洲近事

月曜日  
發兌

第八號





五洲近事第八號 明治十年二月十九日發行

○國政兵事

北米合衆國ノ下議院ニ於テ「ハ」デモシラツト」黨ノ候補サミ  
ユエル、ゼー、ランダル氏ヲ議長ニ撰定シ上議院ニ於テハ從  
前ノ議長フエリー氏ヲ再撰シタリ大統領グラント氏ハ每  
年定期ノ政表ヲ議院ニ進呈シタルニ先ツ同氏在職中ノ事  
務功程ヲ精細登記シテ自ラ施政上ニ於テ一二ノ過失ナキ  
コトヲ免レスト雖モ有心私利ヲ謀ルガ爲メナラズ單ニ事  
ノ誤見謬知ニ出ツルコトヲ開陳シ且ツ昨年費府博覽會ノ  
開設ニ就キ海外諸邦ノ出品等ニ注意セシハ實ニ我カ合衆  
國ヲ友視スル情意ノ厚キヲ徵スルモノニシテ該會ハ我カ  
人民ニ裨補アル所ノ美果ヲ結ブハ疑ヲ容ルヘカラザルノ



說ヲ叙述シ其結局ニハ現今合衆國ノ大統領ヲ撰舉スルノ方法ハ其流弊僅少ナラザルヲ以テ宜ク其方法ヲ改正シテ國是ヲ維持セサルヘカラス殊ニ自國ノ文字ヲ書シ且ツ讀ムコトヲ得サル如キ愚蒙ノ人民ニ投票ノ權ヲ與フルコトヲ廢止スルハ必ス緊要ナルベシト認ムルカ故ニ議院ニ於テ各議員ノ討論辯議ヲ經テ之ヲ決定セシコトヲ欲スルノ意見ヲ通知シタリ

○佛國政府大臣更迭ノ爭議ハ昨年來ノ一大事件ナレドモ近日漸ク確定靜謐ニ歸シ前大統領「エー」氏ガ常ニ信任シタル「ジュール・シモン」氏ハ太政大臣兼內務卿ト爲リ元老院議官「マルテル」氏ハ國璽保持者ト任セラレテ司法文部ノ兩卿ヲ兼テ「デュフォー」ト「ドマルセル」ノ兩氏ノミ其職ヲ免

セラレテ「佗」ノ諸大臣ハ皆其ノ舊職ヲ維持シ得テ世人ノ希望シタルガ如キ大變革ニハ至ラザリキ新太政大臣「シモン」氏ハ事務ニ熟達シ百般ノ事實ニ就キテ早ク確証ヲ認メ得テ英斷果毅ナルノ名聲アリ頃日元老院及ビ下議院ニ於テ同氏ノ演說アリシニ其說ノ眼目ハ共和黨ト王政黨トノ兩說ヲ折衷シテ自由ノ主義ニ服膺シ且ツ決シテ宗教ヲ蔑視セザルノ旨意ニ在リ又議院ノ體裁モ立憲國下議院ノ舊型ヲ保守シ彼ノ王國政治ノ原旨ヲ遵奉スル大統領「マクマホン」氏ガ意見ヲ體認シテ頗ル穩和ノ狀アリト云フ

○西班牙政府ハ數年來ノ國警「ドンカルロス」ノ黨派ヲ殲滅シ佗國ヨリ之ヲ見レハ初メテ全國一政府ノ體裁ニ復スルヲ得タルガ如シト雖モ同國北部ノ州郡ハ其內情未ダ同政



府ノ管下ニ非ザルコ似タリ殊ニバスカ及ビナバルラ兩郡  
ノ如キニ至リテハ其人民毫モ租稅ヲ出スコトナク頗ル統  
御ノ術ニ困難ナリト云フ

○歐洲各國ヨリ米國ニ轉籍移住スルモノ陸續跡ヲ絶タス  
其數頗ル夥多ナリ移民事務局ノ報告ニ因ルニ昨年一月一  
日ヨリ十月三十一日迄ノ間紐育港ニ航着シタル移民ノ惣  
數十萬三千五百五十人其内日耳曼ヨリ七千六百十三人英  
倫ヨリ四千五百三十一人愛兒蘭ヨリ三千九百七十三人蘇  
格蘭ヨリ千三百八十七人佛蘭西ヨリ七百九十九人西威典  
ヨリ七百八人ゼリユサレムヨリ二人ナリト云フ

○魯西亞國オデサ新堡砦築造ノ工業ハ既ニ落成ニ近ク新  
ニ三門ノ大砲ヲ増加シ舊來ノモノト合算スルトキハ七十

門ノ巨數ニ至リセバストポールノ砲臺ニモ百門已上ノ大  
砲ヲ設架シオデサノ濱岸ニ於テハ海上ニ浮遊スル所ノ射  
的ヲ作り日々砲撃ノ演習ヲ爲シ又水電火ヲ設置スルノ業  
モ先日以來孜々トシテ休止セズ其巨大ナルモノニ至リテ  
ハ一具ニ二千斤ノ火藥ヲ含有シ其數已ニ六千具ノ多キニ  
上レリト云フ軍備ハ斯ノ如ク充實シ兵員ハ日々發軍ヲ渴  
望スト雖モ政治論者ノ間ニハ近日却テ平和ノ談ヲ爲スモ  
ノ勢ナカラス又疑惑ノ一點ナリト云フ

○律法審判

往日英國ノ近海ニテ帆走船「ストレースタフイド」ニ衝突シ  
テ同船ヲ覆没セシメ多數ノ人命ヲ失ナハシメタル蒸氣艦  
「フランクコニア」ノ裁判ハ同國海軍提督府ノ裁判所ニ於テ之



ナ判決シテ有罪ト爲シタルニ同艦ノ艦長不服ニシテ上等  
裁判所ニ控訴シタルドモ遂ニ海軍裁判所ノ判決ヲ以テ至  
當ノ裁判ナリト認メタリ

○行商旅人等ノ深ク注意スベキハ頃日北米合衆國インヂ  
ヤナ洲ノ裁判所ニ於テ判決アリタル一事ナリ過月某氏ビ  
ッホルグシンシナチーセントルイス共ニ鐵道會社ニ於テ  
乗車切手ヲ購求シテ一列車ニ乘リタルニ車中客滿ナテ殆  
ント虚地ナク唯一坐位ノ提囊ノ爲メコ占了セラレ、モノ  
アルカ故ニ車中主管者ニ其提囊ヲ轉位シテ其坐ヲ與ヘン  
コトヲ請求シタルニ主管者事故アリテ之ヲ拒ミタリ依テ  
某氏ハ憤怒ノ餘リ坐位ナクバ乗車切手ヲ與フルノ理由ナ  
シト抗辯シテ其列車ヲ下ダリ竟ニ該會社ヲ被告トシテ地

方裁判所ニ告訴シタリシカバ却テ派車ニ乘リ賃銀ヲ償却  
セサルノ罪ヲ以テ二千弗ノ罰金ヲ科セラレタリ然ルニ上  
等裁判所ニ於テハ此處斷ヲ允當ナラスト認ムルヲ以テ又  
合衆國裁判所ノ審判ヲ經ルニ地方裁判所ノ判決ヲ可ナリ  
トシテ其罰金ヲ償却セシメタリト

○壤地利ニテ過日郵便脚夫グガト云ヘハ者ヲ殺戮シタル  
強賊フランセスコニ捕縛シコレヲ死刑ニ處スベキニ  
決シタレドモ國帝ニ哀訴シテ其死ヲ宥メンコトヲ乞フモ  
ノアリテ其處刑多日遷延シタリシトコロ昨年ノ年末ニ至  
リテ國帝其哀訴ヲ斥ケ遂ニ同國ニ稀レナル死罪ニ行ハレ  
タリ

○教育宗教



獨逸各地ノ大學校ハ之ヲ四大科ニ分チ第一チ宗教學トシ  
 第二チ法律學トシ第三チ醫學トシ第四チ理學トシ昔日ハ  
 宗教學ノ生徒最モ權勢チ有シテ其員數甚ク多ク四科ノ第  
 一位チ占メタリシモ文化日ニ開ケ實學ノ益々世上ニ貴重  
 セラル、ノ時勢ニ際會シテヨリ佗科ノ生徒ハ宗教學ノ生  
 徒チ輕蔑シ自ラ該科ノ衰殘チ招キ新入生モ學期ゴトニ減  
 却シ同國ニ著名ナルハイデルベルクノ大學校ニ於テハ昨  
 年夏ノ學期ニ當リテハ僅々九名ノ生徒チ餘スノミコシテ  
 實ニ衰颯ノ極點ニ達シ同科ノ教官ハ却テ生徒ヨリモ多數  
 ナルニ至リタリ然ルニ昨冬ノ學期ニ至リ俄カニ其數チ増  
 シテ十三名ニ上レルガ故ニ新聞記者ハ大ニ驚訝チ抱キ其  
 原チ探偵シ政府ガ不時ニ助金チ出シテ官費生チ招募シタ

ルニ在ルコトチ發見シタリ僅微ノ資金ニ鈞ラレテ其志ニ  
 アラサル學科ヲ修スルノ青年生アルハ東西同轍一笑一嘆  
 ○前號ニモ記載シタルガ如ク獨乙ノ文部卿フアルク氏ハ  
 ビスマルク侯ノ主旨チ奉戴シテ僧侶チ排撃スルノ事業チ  
 勉メ頗ル嚴酷ノ處置チ行ヒ往日同國ブラチンスベルヒノ  
 宗教學校ニシテ文部巡廻吏員ノ監視チ謝絶シタルモノア  
 リシニ忽チコレニ閉校廢業チ命シタリ  
 ○凡ソ百年前英國ニ於テ始メテ禮拜堂中ニ日曜日學校  
 曜日兒童ニ西教經ヲ開キタルロベルト、レーキ氏ハグロ  
 典チ教授スル學校ヲ終生同地ニ居住シテ積善ノ行ヒ、チ爲シ  
 セストルニ生マレ終生同地ニ居住シテ積善ノ行ヒ、チ爲シ  
 タレバ同地ノ禮拜本院ニ於テ今回政府ヨリ同氏ノ追善式  
 チ舉行スト云フ



○米國ニテ有名ナル「エール」大學校ハ生徒ノ員數大ニ増加シ當學期ノ現員表ニ據ルニ宗教學生九十五名法學生六十六名醫學學生三十六名卒業ノ後更ニ各自適意ノ高尙ナル學科ヲ修習スルモノ六十七名級外生二名大學普通本科生五百六十九名博物々理學生二百六名美術學生十六名總計千〇二十一一人アリ卒業生ノ内十名ハ法學校ニ於テ法學學士ノ稱號ヲ得テ後ニ業士ノ稱號ヲ受クベキ高尙ノ課程ヲ履ムモノアリ蓋シ法學學士ノ稱號ヲ附與スヘキ學科ノ數則ハ昨年創定セリト云フ

○學術技藝

全地球ノ人口ヲ統計スルハ頗ル困難ノ事業ニシテ從來許多ノ書表アリテ世ニ公行スレドモ其信據スベキモノ極メ

テ擧シ近來地學ニ有名ナル兩學士ベーム氏ワグネル氏ガ記スル所ハ最モ最近ノ精算ニ屬シテ且ツ最モ確實ナル計表ナリト云フ則チ之ヲ左ニ掲ク

全世界ノ人口ハ十四億二千三百九十一万七千人ニシテ之ヲ五大洲ニ細別スレバ歐羅巴ニ三億〇九百十七万八千三百人亞細亞ニ八億二千四百五十四万八千五百人亞非利加ニ一億九千九百九十二万六千六百人澳斯太拉利亞及ヒ大洋群島ニ四百七十四万八千六百人亞米利加ニ八千五百五十五万九千八百人ナリト云フ而シテ各洲人口ノ疎密ヲ比較スルニ歐羅巴ヲ第一トシテ一英里四方ニ八十二人ヲ有シ次ニ亞細亞ニハ一英里四方ニ四十八人ヲ有シ亞非利加ニハ十八人亞米利加ニハ五人半澳斯太拉利亞及ヒ大洋群島ハ



最モ人口ノ疎ナルモノニシテ一英里四方中僅カコ一人半  
チ有スルノミナリ之チ全地球ニ均等スルトキハ一英里四  
方ニ二十八人ノ比例ナリト云フ

○近來瑞典政府ノ鐵道局長ハ瀛車運轉人及ヒ鐵道官吏ノ  
間ニ色盲<sup>スエーデン</sup>目能<sup>ス</sup>別<sup>ス</sup>物<sup>ヲ</sup>見<sup>レ</sup>ドモ五色<sup>モ</sup>ヲ患<sup>フ</sup>ルモノ多キコ  
注意シ同國ノ學士ホルムグレン氏ニ謀リテ其原因ヲ窮メ  
ンコトヲ託シタリ而シテ同氏ハ爾來ウアラ鐵道ノ器械  
運轉人及ヒ佗ノ吏員等ヲ検査シタルニ總員二百六十六名  
ノ内ニ就ヒテ色盲ヲ患フルモノ十八名ノ多キニ及ベルヲ  
發見シ此ノ病アル輩ヲハ鐵道ノ記標暗號ヲ誤認シテ大危  
害ヲ懸キ出スノ恐レアルガ故ニ其任ヲ退カシムルニ決シ  
タリ歐亞諸國モ以後瑞典ノ好例ニ倣ヒ其國內ノ鐵道吏員

ノ眼目ヲ検査シテ不虞ノ危害ヲ豫防スルニ至ルハ蓋シ多  
日ヲ經ザルベシ而シテ其原因ノ如キハ尙ホ未タ明晰ナル  
コトヲ得ズト云フ

○英京倫敦ニ於テ比日北氷洋檢探ノ會議ヲ開キ同國ノ皇  
太子モ其席ニ臨ミテ議長ト爲リ獨乙國有名ノ地理學士ベ  
ルトマン氏モ此會筵ニ陪シ同氏ノ議案ニ隨ヒ其平生ニ  
思考シタル所ノ方案ヲ循守シテ新ラクニ一艦隊ヲ北極  
地方ニ派出スルニ決シタリ

○昨年費府博覽會ヲ來觀シタルノ故ヲ以テ熱病ニ罹リタ  
ル患者ヲ數診察セシ所ノ醫家其病原ニ關涉シテ左ノ件ヲ  
語レリ曰ク費府ノ地位博覽會場ノ造構如何ニ由リ病ヲ生  
セシニ非ラス會場ニ出陳シタル物品埃<sup>エ</sup>及印土亞細亞亞非



利加南亞米利加ノ如キ熱病流行ノ地ヲ經テ船載セタルヲ以テ自ラ其慘毒ヲ傳染セシナルベシ而シテ古來合衆國ニ於テ曾テ聞知セサル數種ノ熱病博覽會開設ノ後人民ヲ傷損スルコト往々コレアリ該會ノ不幸ナル一結果ト云フベキカ

○米國ウイスコンシン州ノゼチハ湖邊ニ居住スルエン、ケ  
リ、フエーヤバンス氏ハ同湖ニ於テ食用魚ヲ養成スルノ業ニ從事シ昨年中自費ヲ以テ過臘魚ノ數種鱒マス「ホハイト、フヒシユ」ウオールアイド、バイキ共ニ魚名等ノ卵ヲ化生セシメ養育シタル總數凡ソ百五十萬尾ニ達シタリト云フ

○魯國ノ貴族ウーヴハロツフ侯ハ古物學ヲ修メ頗ル其蘊奧ヲ究メ即今魯國石期ノ記事ニ關スル一書ヲ著述シ圖畫

ストオンエーシ

ヲ插入シテ將ニ胡剛氏ニ附セントス蓋シ此書發行ノ後ハ新世界亞米利加洲ヲ云フト舊世界亞細亞洲等ヲ云フトノ古代石製ノ器具ヲ比較スルノ好助手ト爲ルベキヲ以テ世ノ古物學者之ヲ一讀セバ必ス得ル所アルベシ

○過日米國ボールト、セルピスニ於テ無數ノ鳥一群ヲ爲シテ北方ヨリ南方ニ向フテ飛去スルヲ見タル人アリテ速ニ之ヲ捕ヘンコトヲ謀リ其數十羽ヲ得タルニ羽翼殆ント雪白ニシテ其類別五種アリ紐育府ニテ有名ナル裝鳥師ニ命ジテ其體裏ノ肉ヲ去リ佗ノ物料ヲ充塞シテ博物館ニ陳列スルノ一品ト爲サシメタリ而シテ斯ノ如ク鳥群ノ南飛スルハ稀世ノコトナルガ故ニ博物學者其原由ヲ考究スルニ衆說同シカラスト雖モ北洋ノ氷塊突然ニ流動シタルヲ以



ヲ鼻チシテ南方温暖ノ地ニ其棲チ求メシメタリト云フノ  
説ハ最モ認信スベキニ似タリ

### ○工商諸業

昨年費府博覽會開設ノ際六ヶ月間ニペンシルベニヤ鐵道  
會社ノ派車セルシーシナリ紐育府ト一ヨリ費府ニ至ルモ  
ノ二萬二千九百十七列ニシテ其車數十二萬七千〇八十輛  
其乗客七百五十万人以上アリ此數ハ往路ノミニシテ還路  
チ算入セスト云フ

○頃日連馬ノ首府コッペンヘーシヨノ活版植字職人ハ同業  
協議ノ上活版主人へ雇錢チ増加セヨコトチ請求シテ其許  
可チ得ザリ故ニ賃錢増加ノ決議ニ至ルマデハ一人モ其  
職ニ就カザルコトニ決シ多日休業シタレバ活版主人ハ別

ニ新職人チ募リテ新聞紙ノ如キ定期刊行物チ印刷スルチ  
得テ未タ大ナル妨碍アラザルノ景况ナリシモ昨年ノ年尾  
邪蘇誕生祭ノ前ニ當リテ例年ノ如ク多數ノ新書籍チ刊行  
スヘキノ時ニ際シ歐洲一般ニ邪蘇ノ誕生祭ニ於テ親戚知  
ノ風習アル始メテ植字職人ノ缺乏チ覺ヘ止チ得ズテ獨  
逸國ヨリ職人チ招キ或ヒハ同國へ原稿チ送リテ印刷セシ  
メ漸ク其困難チ避ケ得タリ爾來ハ獨逸ヨリ連馬ニ移住シ  
テ此業ニ從事スルモノ多ク且ツ國內ノ婦人ニモ植字チ職  
業トスルモノチ生シ遂ニ舊來ノ職人ハ無用ニ屬スルガ如  
キニ至リ所謂植字職會社ナル者モ瓦解ニ近ク職人中往々  
降旗チ樹テ、舊主人ノ店前ニ涕泣シ其宥恕チ哀求スルノ  
景况ニ迫リ今後全ク其常職チ失フニ至ルベキモノ其數チ



知ル可ラズト云フ

○各地叢話

獨逸國ノ郵便局ハ近來電信通報ノ一新制ヲ定メ大ニ旅人ノ便益ヲ起コセリ鉄道ノ列車ニハ必ス郵便物ヲ遞送スルノ一車アリテコレニ郵便函ヲ附シテ書翰ヲ投入スルノ便ヲ得セシム是故ニ旅人ノ車中ヨリ電信ヲ通セシコトヲ欲スルトキハ電信ノ文案ヲ草シ通常ノ書簡ノ如ク通信賃ニ當ルベキ郵便切手ヲ貼付シテ之ヲ投函スレハ其次キノ停車場中ノ電信局ニ於テ直チニ通信スルコトヲ得ヘシト云フ蓋シ米國ニ於テ斯ノ如キ便利ノ方法ヲ速ニ採用セザルハ記者ノ解セサル所ナリトハーベルス挿畫新聞ニ載セタ

○附録

伯克爾氏文集抄譯

大塚綏次郎邦送

婦女ノ權勢ハ智識ノ進歩ニ影響アルコトヲ論ズ前號ノ續キ

總テ社會ノ情態兒童ノ教育學問ノ精神及ヒ其景況活業ノ方法及ヒ其慣習ヨリ法律及法官ノ裁判律例書等ニ至ルマデ處トシテ婦女ガ逐次參與シ來ラザルハナク而シテ從前ノ境界ヲ顛脫シテ漸ク將ニ高等ノ位置ヲ占領セントスルノ明証確然タリ是則チ近代ノ開化ハ往時ノ開化ト異ナル所以ノモノニシテ近代開化セシ國ハ往昔隆盛ナリシ國ト其趣ヲ同フセザルヲ察スベシ往昔有名ノ諸國ニ於テハ悉皆婦女ヲ蔑視シ甚ク下等ノ位置ニアラシメ共ニ權義ヲ同



フセザリシナリ羅馬ハ古ノ文明國ナリ然レドモ唯其吾人  
 ニ傳ヘシ所ノ者ニツイテ最モ壯麗ニシテ堅牢ナリト稱ス  
 ベキ貴重ナル遺物ハ一ノ法律學アルノミ羅馬人ノ法律ハ  
 完全備具モ間然スヘキナク實ニ充分ノ精妙ヲ盡セルモ  
 ノニシテ吾輩ガ之ヲ學ンデ吾人ノ法律ヲ制スル標準ト爲  
 ストコロナリ先ニハアラウクトシテ後ニハトウマスハルド  
 ウイキマンズフヒールドストーウエル諸氏ノ如キ近代著名  
 ノ法學士輩出シテ吾人撒遜種ノ祖先ノ粗暴ナル格言ヲ温  
 柔ナラシメ粗糲ナル古法例ヲ改良修整シ實際生活ノ要具  
 ト爲セシハ實ニ之ヲ羅馬人ノ餘澤ト云ハサルヘカラズ  
 以下  
 次  
 ○第七號正誤 七丁才鋸屑ハ鋸屑  
 編輯兼印刷人 杉山逸也

○社告

海外ノ奇事異聞ヲ敝社ニ報知スルノ惠愛ヲ有シ或ハ本紙  
 ノ配達郵送ヲ欲セラル、所ノ諸君ハ賣捌所東京丸家善七  
 若シハ報告社宛ニテ貴書ヲ投寄アラシムコトヲ乞フ

五洲近事社中敬白

定價一冊四錢○前金五冊十八錢○全十冊卅五錢○全  
 廿冊六十八錢 府外ハ別ニ郵稅ヲ受ク

賣捌所

- 東京日本橋通三丁目 丸家善七
- 全本郷元町壹丁目 報告社
- 全本町三丁目 瑞穂屋卯三
- 全藥研堀町 報知社
- 全湯島松住町 島屋平七



全飯田町二丁目  
 全虎之門外琴平町  
 全新橋南鍋町九番地  
 全外神田御成道五軒町  
 全神田美土代町四丁目  
 全駿河臺袋町一番地  
 大阪心齋橋通北久寶寺町  
 京都寺町通三條上  
 横濱辨天通二丁目  
 愛知縣名古屋本町八丁目  
 全三州西尾本町  
 越後國長岡  
 上州高崎田町  
 紀州和歌山本町二丁目

佐藤正藏  
 靜霞堂  
 綴籍舎  
 擁書城  
 榻屋作太郎  
 下郷圓次郎  
 丸善藏  
 丸善吉  
 丸善八  
 丸善八  
 鹿島屋重兵衛  
 大橋佐平  
 菊屋源作  
 知新堂分舎

終